

「(仮) 北海道青森県風力発電ファンド」 への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下「機構」という。）は、日本風力開発株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役：塚脇正幸、以下「JWD」という。）がファンド運営者である「(仮) 北海道青森県風力発電ファンド投資事業有限責任組合」に 10 億円の LP 出資を決定致しましたのでお知らせします。

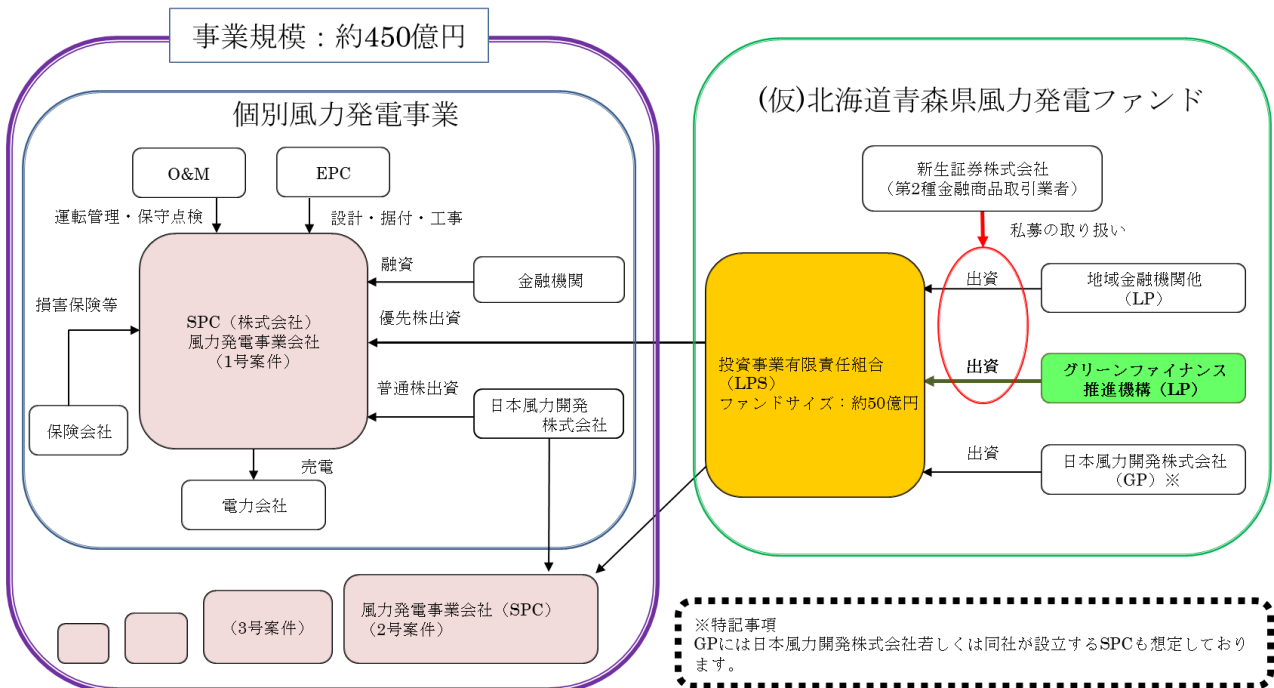
JWD は日本国内 25 ヶ所以上、風車 200 基以上の開発及び運営実績を有しており、高い技術力とノウハウを持っております。

本ファンドは、風力発電のポテンシャルが高い北海道及び青森県において、地域活性化に資する風力発電の再生可能エネルギー事業を投資対象とするものです。

本ファンドは、機構や投資家が有限責任組合員（以下「LP」という。）となり組成されますが、今後、最大 50 億円程度のファンド規模を目指し、地域金融機関等に出資の呼び掛けが予定されています。

機構と JWD が知る限り風力発電事業としては本邦初となる開発ステージにおけるファンド組成により、発電時に CO2 を排出しない風力発電の開発を促進すること、機構の出資が本取組における民間資金の呼び水効果となることに鑑み、機構は出資を決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本ファンドに、本ファンドの無限責任組合員（以下「GP」という。）の JWD、機構及び地域金融機関等が出資し、ファンドを設立します。今後、本ファンドの私募取扱業者である新生証券株式会社が LP 出資者を募集します。
- ② GP は北海道及び青森県における風力発電案件に出資していきます。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① JWD が有する風力発電事業の実績やノウハウを活用し、風力発電の開発を促進し、普及に資すること。
- ② 事業予定地周辺の地域住民やその他関係者との協力のもと、開発が進められており、一部工事は地元企業への発注も計画しており、また、個別プロジェクトの SPC から地域への協賛金等の支払いを計画していることから地域活性化効果が見込まれること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 120,498t-CO2/年を想定）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
